

計画を推進する役割

町並み・村並み・山並みエリアが連携し、非観光事業者も含めた多様なステークホルダーの連携で進めます。町民の理解のもと、行政・観光協会・事業者団体も連携してそれぞれの役割を推進します。

行政は、先人から受け継ぐオーナーワンの観光資源である文化財等の管理・活用を行い、町民の満足度の向上に繋がる持続可能な観光を推進します。また、せとうちDMOや四国ツーリズム創造機構等のDMOと連携し、広域での誘客を図ります。

さらに(一社)内子町観光協会を中心とする町内の観光関連事業者と連携し、観光施策の展開と基盤整備に取り組みます。

(一社)内子町観光協会は、旅行商品の造成・販売を行うとともに、戦略的なプロモーション及びセールスを行います。また、観光まちづくり人材の育成や研修等を行い、ホスピタリティの醸成やガイドの育成等に取り組みます。さらには行政や観光関連事業者等の合意形成を図り、まちづくりと連動した持続可能な観光に、具体的に取り組みます。

観光事業者等は、行政や観光協会等と連携し景観維持や商品開発等に取り組み、観光客の滞在価値や滞在時間の向上を目指します。また、まちづくりと連動した持続可能な観光に参画し、継続した観光商品の提供を行います。

内子町観光数値目標

KPI	現状（実績）			短期目標	中長期目標
	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2029年度
① 一人あたり観光消費額	1,295円	1,319円	2,273円	2,300円	3,000円
② 総観光消費額	1,204百万円	1,253百万円	2,098百万円	2,340百万円	3,347百万円
③ 宿泊者数	9,147名	10,682名	11,168名	15,000名	16,000名
④ インバウンド宿泊者数	62名	883名	1,325名	3,000名	5,000名
⑤ 観光客満足度日本人(NPS)	—	23.5	23.5	23.5	24.0
⑥ 観光客満足度外国人(NPS)	—	42.8	42.8	42.8	43.0
⑦ 住民総合満足度	—	72.1%	72.1%	72.1%	75%
⑧ WEBサイトアクセス数	197,433件	198,852件	148,885件	260,000件	300,000件

*住民総合満足度は、2024年内子町総合計画・総合計画策定のための住民アンケート調査(2024年3月)で、今後の居住意向について内子町に「ずっと住み続けたい」「できれば住み続けたい」を選んだ割合

*①～④は、暦年（1月から12月）とする。

*2024年度の現状（実績）欄の⑤、⑥は推計値

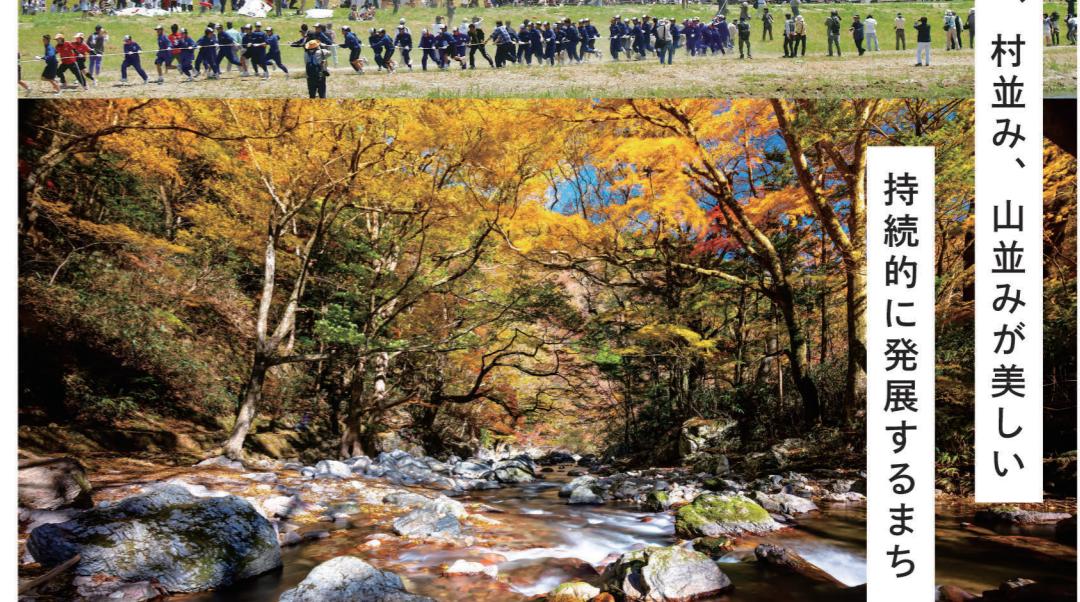
*2024年度の現状（実績）欄の⑧WEBサイトアクセス数は、4月から2月までの実績

ロードマップ



内子町観光振興計画（概要版）

2025年度～2029年度

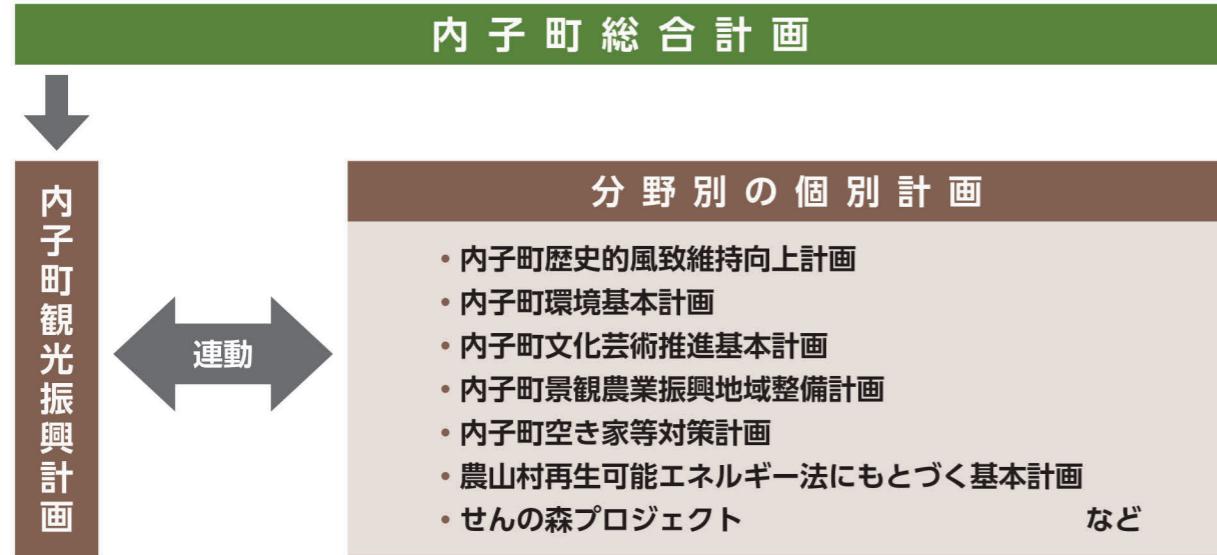


町並み、村並み、山並みが美しい

持続的に発展するまち

計画の位置付け

本計画は「内子町総合計画」を最上位計画と位置付け、町が策定する他の個別計画等と連携しながら、町の観光振興を図るための指針として位置付けます。



内子町の現状

先人から継承した伝統・文化等がオンリーワンの観光資源として存在する一方で、滞在時間が短く郊外の観光資源の魅力を十分に活かしきれていません。そのため、観光DXを推進し観光客の利便性の向上を図るとともに周遊観光を促進し、新たな観光需要を創出する必要があります。

SWOT分析

強み (Strength)

- ① 独自のまちづくりと豊かな地域資源
- ② 伝統文化が息づくまち
- ③ 四季折々の自然美と新鮮なフルーツや野菜
- ④ せとうちDMOや大洲市との連携による広域観光
- ⑤ 内子のおもてなし

弱み (Weakness)

- ① 宿泊するという選択を取りにくい
- ② 飲食店営業情報が受け取りにくい
- ③ 町並み以外の観光エリアを観光目的とされにくい
- ④ 旧来型観光モデルの行き詰まり
- ⑤ 観光の組織化・拠点化が不十分
- ⑥ 人手不足・高齢化による産業の空洞化、空き店舗の増加

機会 (Opportunity)

- ① 人口減対策としての観光振興
- ② 観光庁により、せとうちエリアがモデル観光地に選定されている
- ③ SDGsや環境保全意識の高まり
- ④ 観光ニーズの多様化
- ⑤ 観光分野におけるDXの推進

脅威 (Threat)

- ① 内子座の保存修理に伴う休館
- ② 公共交通機関の脆弱性
- ③ 観光地の地域間競争

観光客の動向

- ▶ 道後温泉に宿泊する日本人やアジア圏インバウンド客が多く訪れる、町並みエリアの回遊で日帰り客が約99%を占める
- ▶ 保存された歴史的町並みや建造物、里山に見られる日本の原風景などがインバウンドから注目されており、伝統文化施設のインバウンド入館者数は、コロナ禍前の2019年と比較して、2023年は2.4倍に増加している
- ▶ 滞在志向の強い欧米豪からのインバウンド増加は、消費額の増大に期待できる

町並み、村並み、山並みが美しい持続的に発展するまち

